

文化財多言語化研究報告

目次

例言

I 論考	[1] 文化財の多言語化に失敗しないためには	Yanase Peter ……6
	[2] 「文化財」を翻訳する	吴 修喆 ……12
	[3] 文化財を「翻訳」する —より良い訳文を提供するために—	吴 修喆 ……20
	[4] 韓国語における日本語表記法の変遷過程 —「東京」から「토오쿄오」へ、そして「도쿄」へ—	扈 素妍 ……26
	[5] 平城京・平城宮の遺跡名や地名の韓国語表記方法に関する提案	扈 素妍 ……42
	[6] 多言語化事業における校閲者の役割	方 国花 ……46

II 事業報告	[7] 全国の模範となる多言語化に向けて —関西での文化財機構の取り組みについて—	Yanase Peter ……50
---------	--	-------------------

III 実験	[8] 文化財関係用語ソースの構築と実践活用例： 文化財多言語事業への展開を見据えて	高田 祐一 ……56
--------	---	------------

IV 資料	[9] 奈良時代の律令制における中央官制の日英翻訳集 Yanase Peter & Shaun I. Mackey ……66	66
	[10] 文化財関連用語日中対訳集	吴 修喆 ……88
	[11] 文化財関連用語日韓対訳集	扈 素妍 ……103